



環境経営レポート

2021年度

対象期間（2021年4月～2022年3月）



未来の
ために、
いま選ぼう。

新青山 株式会社

2022年 6月30日作成
代表取締役社長 久枝 栄二

目次

1. 組織の概要 ----- P1～P3
2. 対象範囲 ----- P4
3. 環境経営方針 ----- P5
4. 環境経営目標とその実績 ----- P6～P8
 - ① 環境経営目標
 - ② 2021年度実績
 - ③ 環境経営目標 2022年度～2024年度
 - ④ 環境負荷を低減する理化学機器類の販売実績
5. 環境経営計画 ----- P9～P10
6. 環境経営計画の取組結果とその評価、次年度の取組内容 -- P11～P12
7. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果
並びに違反、訴訟などの有無 ----- P13
8. 代表者による全体評価と見直し・指示 ----- P14
9. (株)エスワン 環境問題の解決に役立つ技術開発 事例紹介 --- P15

1. 組織の概要

① 事業所名及び代表者名

新青山株式会社
代表取締役社長 久枝 栄二

② 所在地

本社（岡山営業所） 〒700-0953
岡山市南区西市114-8



水島営業所 〒712-8061
倉敷市神田1-2-12



福山営業所

〒720-0813
福山市道三町1-6



東京営業所

〒101-0041
東京都千代田区神田須田町2-6-2
神田セントラルプラザ1004号



(株)エスワン

〒712-8051
倉敷市中畝3-11-44

※ 2021年11月に新青山(株)水島営業所内より新築移転しました。



URL: 新青山(株) <https://shin-aoyama.co.jp>
URL: (株)エスワン <http://www.s-one-net.co.jp>

③ 環境管理責任者及び担当者氏名、連絡先

責任者 出原 稔
担当者 岩崎 三根

連絡先 新青山(株) 岡山営業所

電話 086-245-4551

FAX 086-245-4220

④ 事業活動の内容

岡山県及び広島県東部地域において科学計測機器の販売・開発及びメンテナンスを行っております。

⑤ 事業の規模

2021年度 売上高 4,368百万円 (新青山・エスワン合計)

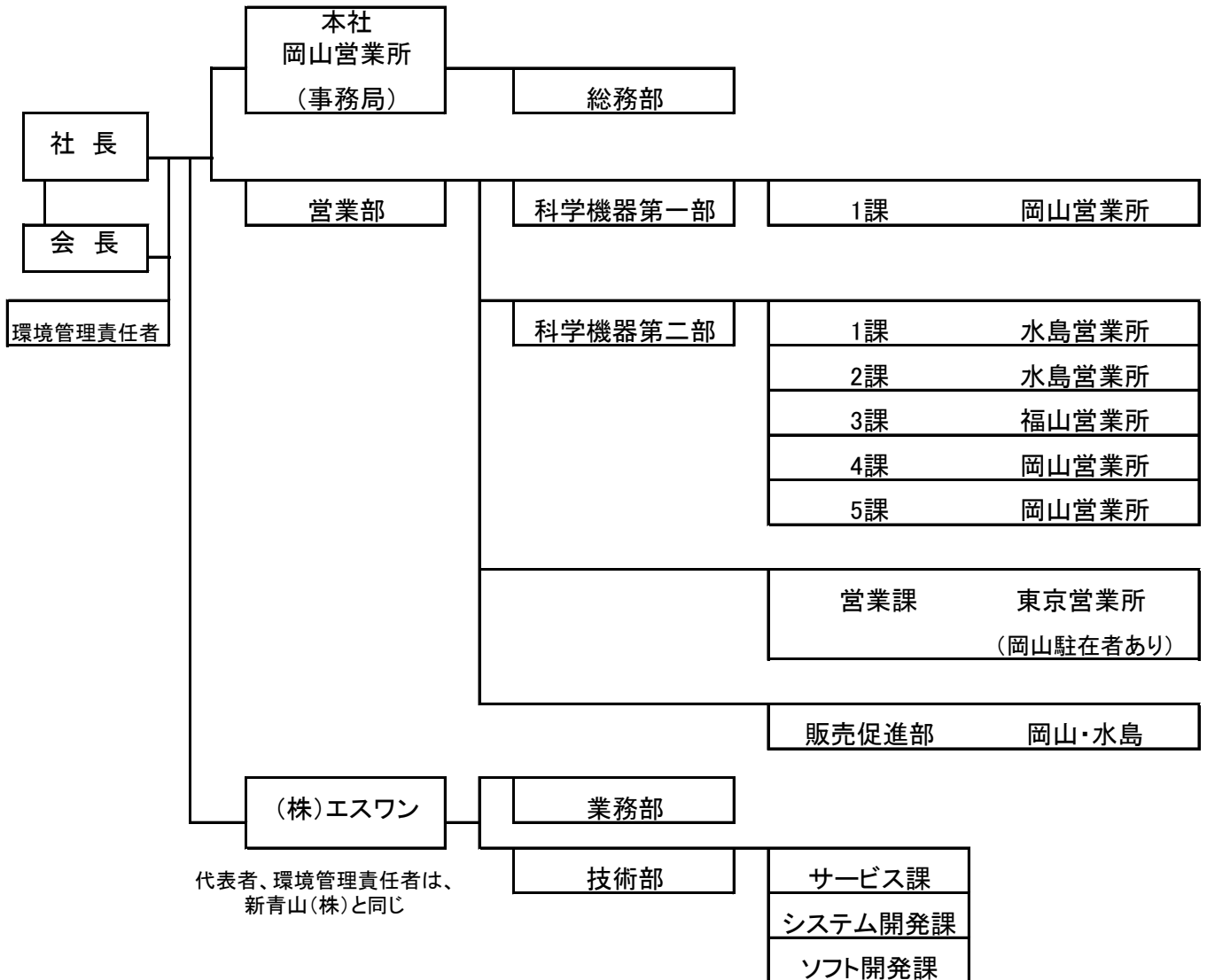
従業員数 岡山営業所 35人 水島営業所 18人
福山営業所 8人 東京営業所 1人
(株)エスワン 20人
合計: 82人

床面積 岡山営業所 552㎡ 水島営業所 669㎡
福山営業所 188㎡ 東京営業所 33㎡
(株)エスワン 591㎡

2. 対象範囲

認証・登録範囲 本社(岡山営業所)・水島営業所・福山営業所・東京営業所・(株)エスワン

対象活動範囲 科学計測機器及び関連機器の販売・メンテナンス



3. 環境経営方針

1. 当社は、科学計測機器及びその関連機器の販売・サービス活動を主要業務とする会社として、その事業活動において、環境管理に十分な配慮を行い、積極的に継続的改善と環境負荷の低減に努めると共に、地域社会の環境負荷削減及び環境保全に貢献する。

2. 環境経営目標を定め、より良い環境水準を目指し、適宜見直しを行う。
 1. 二酸化炭素排出量を削減する。【 電力・ガソリン使用量の削減 】
 2. 廃棄物排出量を削減する。
 3. 水使用量を削減する。
 4. グリーン購入の推進。
 5. 環境負荷を低減する理化学機器類の販売促進。

3. 環境に関する法規制を遵守する。

この環境経営方針は、全社員に周知徹底すると共に、社外に公表します。

制定 2006年6月15日

改定 2016年4月1日

改定 2018年4月1日

新青山 株式会社

代表取締役社長 久枝 栄二

4. 環境経営目標とその実績

① 環境経営目標

	単位	2021年度
二酸化炭素排出量	kg-co2	212,518
(電力)	kWh	90,000
(ガソリン)	L	65,340
廃棄物排出量	kg	990
水使用量	m ³	396

② 2021年度実績

	単位	実績値	目標達成率(%) (目標値/実績値×100)
二酸化炭素排出量	kg-co2	193,204	110
(電力)	kWh	96,998	93
	kg-co2	65,667	—
(ガソリン)	L	54,973	119
	kg-co2	127,537	—
廃棄物排出量	kg	933	106
水使用量	m ³	400	99

太陽光発電量(福山営業所)	kWh	10,122	(全量売電)
---------------	-----	---------------	--------

③ 中長期環境経営目標 (2024年度までを目標とする。)

	単位	2022年度	2023年度	2024年度
二酸化炭素排出量	kg-co2	218,586	216,400	214,236
(電力)	kWh	101,200	100,188	99,186
(ガソリン)	L	64,687	64,040	63,400
廃棄物排出量	kg	980	970	960
水使用量	m ³	420	416	412

- ・2022年度の目標値は、(株)エスワンの新築移転(2021/11)もあり
2021年度の実績及び従業員数、コロナウイルスの影響等を考え設定しました。
- ・2023年度以降の二酸化炭素排出量、廃棄物排出量、水使用量の目標値は、前年度目標値の1%削減とします。
- ・廃棄物排出量は、最終処分量(可燃ごみの1割及び、不燃ごみ)とし、紙及び金属類は循環資源とします。
- ・2018年度からの電力の二酸化炭素排出係数は0.677(kg-CO₂/kWh)としています。(東京営業所を含む)
(2017年度、中国電力、調整後排出係数 2018.12.27環境省・経済産業省公表)
- ・廃棄物排出量の数値は、産廃の大部分が引取品の為、2020年度より一般廃棄物の最終処分量としております。

化学物質の使用はなく、目標値の設定はしていません。

④ 環境負荷を低減する理化学機器類の販売促進

環境負荷を低減する理化学機器類の製造で実績のある『エスペック(株)※』の製品の販売を促進します。

2021年度 販売実績 計 43台 (販売目標60台、前年実績68台)

目標達成率72%でした。2022年度も60台を目標値とします。

※ 東京証券取引所 第一部上場

2004年 第13回 地球環境大賞「日本工業新聞社賞受賞」

2005年 第3回 日本経営大賞「環境経営優秀賞受賞」

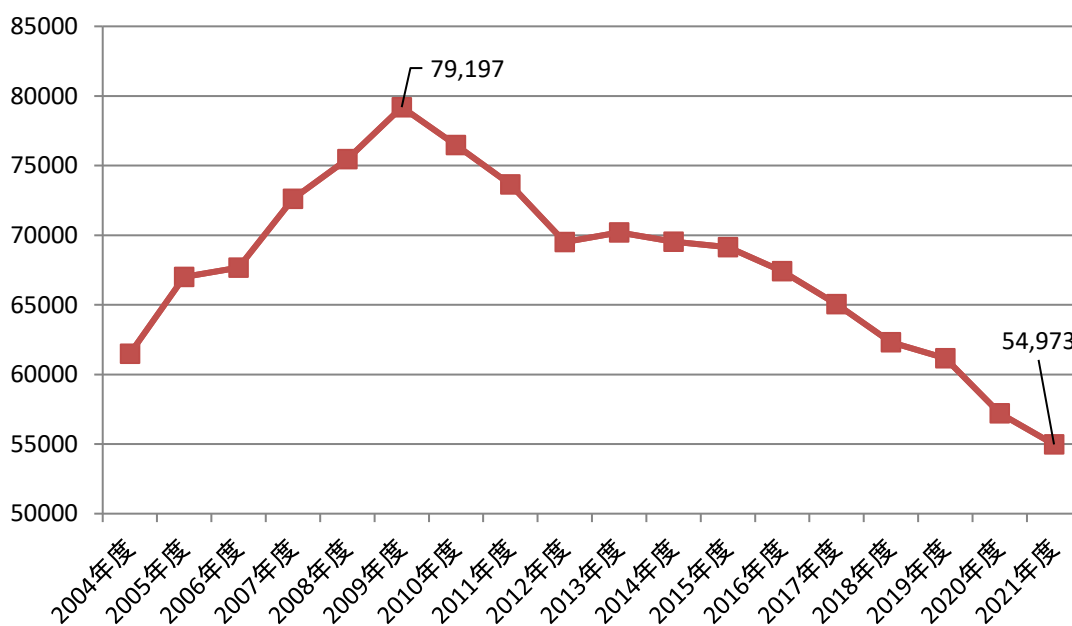
2013年 第33回 優秀省エネルギー機器「日本機械工業連合会会長賞受賞」

2014年 eco検定アワード2013「エコユニット部門大賞受賞」

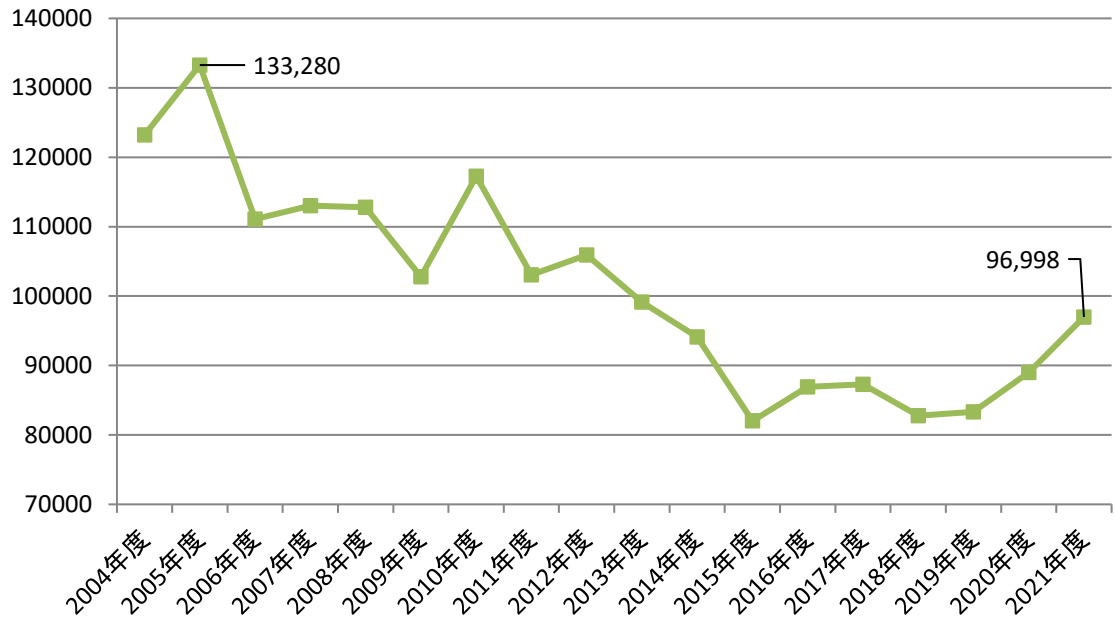
使用量の推移 2004年度～2021年度

2004年度	従業員数	53名	売上高	3,110百万円
2021年度		82名		4,368百万円

ガソリン使用量 単位 L

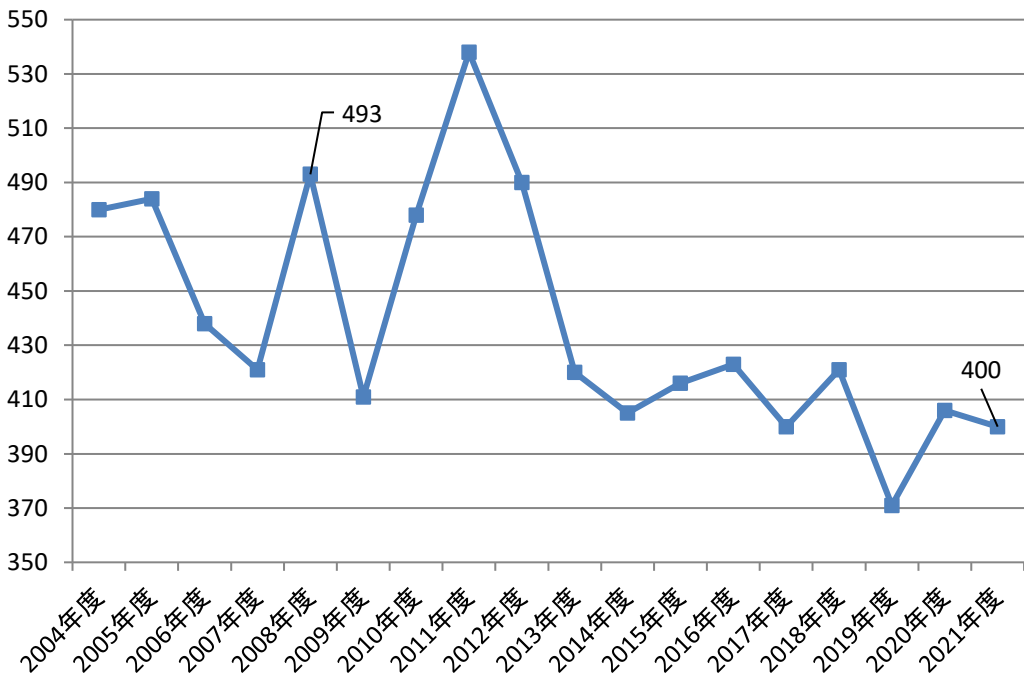


電力使用量 単位 kwh



※2017年度より東京営業所分を含んでおります。
2021年11月(株)エスワン新築移転

水使用量 単位 m³



※2017年度より東京営業所分を含んでおります。
2021年11月(株)エスワン新築移転
※2010年度～2012年度に 福山営業所及び
2020年度に 岡山営業所にて水漏れが発生しております。

5. 環境経営計画

1. 電力使用量の削減

空調の適温化（冷房28度・暖房20度）を徹底する。

クールビズ・ウォームビズの実施

トイレの照明は使用時のみ点灯する。

昼休みの消灯及び不在部署の消灯

長時間外出時パソコンの電源をOFFにする。

20:30以降の残業及び休日出勤の自粛

2. ガソリン使用量の削減

社有車の燃費チェック(運転日報の提出)を行う。

定期点検の実施

「エコドライブ」の実践

急発進、急加速、急ブレーキを排除し一定速度での安全運転を行う。

アイドリングの禁止、駐停車時はエンジンを切る。（納品・買物・待合せ時等）

不必要な荷物は積み込まない。（特に重量物）

効率的な営業ルートの実践

給油は営業ルートで早めに行う。

3. 廃棄物の削減

社外よりのゴミの持込を無くす。（特にビン・缶・ペットボトル）

分別を徹底し、所定の場所に置く。

（段ボール、新聞カタログ類、缶、ビン、可燃ごみ、不燃ごみ）

コピー用紙・空封筒の再利用を行う。

カタログ類の保管場所の徹底及び適正発注を行う。

使用済みプリンター用トナーカートリッジの業者への返却

※ 社外清掃で集まった廃棄物については、当社の廃棄物とは別扱いとし、カウントしていない。

4. 水使用量の削減

こまめに蛇口を閉め節水に心がける。

蛇口を全開にして使用しない。

水漏れの点検を行い発生の場合の早急な修理。

5. 環境負荷を低減する理化学機器類の販売促進

対象は「エスペック(株)」の省エネ機器とする。（2004年地球環境大賞他受賞会社）

6. 環境問題の解決に役立つ技術開発 (株)エスワン

資源、省エネ、環境保全に役立つ製品を開発し、社会に提供する。

環境関連製品を3件以上販売
環境関連イベントに1件以上参加

日程及び責任者

計画は、一年間を通して行い、9月末時点で確認を行うこととする。
責任者は、下記の通りとする。

岡山営業所	水島営業所	福山営業所	東京営業所	エスワン
出原	山下	宮地	海本	池田

福山営業所が、毎週行っている道三川(かつての福山城の外堀)の清掃の様子



6. 環境経営計画の取組結果とその評価、次年度の取組内容

環境経営計画		実施状況（各管理者評価）					全体評価
		岡山	水島	福山	東京	エスワン	
ガソリンの削減	社有車の燃費管理徹底	A	A	A	—	A	A
	定期点検の実施	A	A	A	—	A	A
	エコドライブの実践	A	A	A	—	A	A
	アイドリングの禁止	A	A	A	—	A	A
	不必要な荷物の積み込	A	A	A	—	A	A
	効率の良い運転ルート	A	A	B	—	A	A
	早めの給油	A	A	A	—	A	A
電力の削減	空調の適温管理	A	A	A	A	A	A
	クールビズの実施	A	A	A	A	A	A
	トイレの消灯	A	A	A	A	A	A
	昼休み及び不在部署の消灯	A	A	A	A	A	A
	外出時パソコンの電源OFF	B	B	B	A	A	B
	休日及び20:30以降の残業の自粛	B	B	A	A	B	B
廃棄物の削減	社外からのごみ持込削減	A	A	A	A	A	A
	分別廃棄及び廃棄場所管理	A	A	A	A	A	A
	コピー用紙・封筒の再利用	A	A	A	A	A	A
	カタログの保管場所の徹底	A	A	A	A	A	A
	プリンターカートリッジの返却	A	A	A	A	A	A
水の削減	こまめに蛇口を確実に閉める	A	A	A	A	A	A
	蛇口を全開にして使用しない	A	A	A	A	A	A
	水漏れの点検	A	A	A	A	A	A
省エネ機器販	エスペック製品の販売促進	A	B	B	A	—	B
(株)エスワン 技術開発と省エ ネ機器販売	環境関連製品販売	—	—	—	A	A	A
	環境イベント参加	—	—	—	B	C	C

備考：実施状況はA(良),B(普通),C(不良)で記載。

1. 電力使用量の削減

計画は、概ね実行されている。

「おかやまCOOL CHOICE！宣言」への参加

クールビズ期間は、5月～10月とする。

エスワン建屋に人感センサーライト導入

蛍光灯故障の場合のLED照明への切替

2. ガソリン使用量の削減

計画は、概ね実行されている。目標を達成

新規に軽四の商用車を導入

荷物の量により営業車を選択している。

3. 廃棄物の削減

計画は、概ね実行されている。分別をさらに徹底する。
エスワン新築移転に伴う物は、適正に処理

4. 水使用量の削減

計画は、概ね実行されている。
エスワン建屋に自動洗浄節水トイレ導入

5. 環境負荷を低減する理化学機器類の販売促進

目標達成率は72%でしたが、エスペック重点テーマ目標の保守契約の獲得で表彰を受ける。

6. 環境問題の解決に役立つ技術開発 (株)エスワン

環境関連製品 3件受注・納入

- ・ 有毒ガス吸収能力試験装置
- ・ コークス反応試験装置用流量制御ユニット（温暖化ガス排出抑制）
- ・ グローブボックス 3台（作業環境改善）

環境関連イベントは、新型コロナウイルス感染症まん延防止の為、活動中止

※ 次年度の環境活動の取組は、変更無しとする。

※ 2021年度 福山営業所の太陽光発電量は、10,122kWhでした。

「全量売電」（全社電力使用量の10.43%）



7. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果 並びに違反、訴訟等の有無

環境関連法規は以下の通りです。

法規制等の名称	該当する要求事項	該当項目	遵守評価
廃棄物処理法		廃棄物	遵守
	廃棄物の飛散・流出及び地下浸透の防止及び衛生管理		
	処分は処理業の許可を有する者に委託する		
	処理業者との契約、許可証の写し保管		
	産業廃棄物管理表(マニフェスト)の管理 5年間保存 マニフェスト交付等状況報告書提出 6/30まで 産業廃棄物保管場所での掲示板設置		
毒物及び劇物取締り法		毒・劇物	遵守
	販売登録票の掲示		
	取扱責任者の専任		
	保管庫の管理及び鍵の管理		
	医薬用外・毒物・劇物の表示 譲渡書類の管理		
高圧ガス保安法		ガスボンベ	遵守
	販売許可の登録		
	販売主任者の届出		
	譲渡書類の管理		
RI規制法		ECD	遵守
	販売許可証の保管		
	取扱主任者の届出 譲渡書類の管理		
フロン排出抑制法		第1種 特定製品	遵守
	業務用の冷凍冷蔵庫、エアコンの点検 製品廃棄時前のフロン類回収		

環境関連法規及びこれらの遵守状況を確認した結果、環境関連法規への違反はありませんでした。
また過去3年間、関係機関からの違反の指摘及び訴訟もありません。

8. 代表者による全体の評価と見直し・指示

項目	情報及び報告の概要	評価		見直し	指示	
		環境経営システムの機能の有効性	環境への取組	改善・変更の必要性		
1	環境経営方針	事業活動に見合った物としている 二酸化炭素排出量削減他、環境経営目標を定める、環境負荷を低減する製品の販売促進、グリーン購入、環境関連法規の遵守をうたっている。	有効	適切	無	無
2	環境経営目標	二酸化炭素排出量削減 (電力・ガソリン) 廃棄物・水使用量削減 環境負荷を低減する製品の販売 上記の数値目標をうたっている。 2021年度実績報告	有効	適切	無	無
3	環境経営計画	各営業所、エスワンの責任者からの環境経営計画の実施状況 クールビズの期間を今期も5月から10月とする。 蛍光灯故障時のLED照明への切替	有効	適切	無	有
4	実施体制	現状報告	有効	適切	無	無

環境経営計画 指示 10年以上使用した営業車は、早めに新車に切り替えること。

9. 株式会社エスワン 環境問題の解決に役立つ技術開発 事例紹介

有毒ガス吸収能力試験装置

用途 本装置は、吸収缶の有毒ガス吸収能力を試験する装置です。
有毒ガス(濃度300~1000ppm 20℃相対湿度50%RH)を
吸収缶に流し、GC分析します。分析データは、パソコンに収集します。

特長

- ガスクロで、最短周期で分析します。
- マスフローコントローラーによる流量制御

仕様

- マスフローコントローラー : 3台 (RS485通信)
- ガス警報BOX付
- 接ガス部主要材質 : PTFE、PVC、SUS316、SUS304他
- 電源 : AC100V

